

たがわない
約束

4

[気密パッキン]

継ぎ目に隙なし

その②

スウェーデンハウスは、床、壁、屋根の

六面体を強固に緊結して一体化させたモノ

ボックス®構造です。実は、この六面体を一

体化させる独自の建て方（施工方法）は、耐震

性の確保だけでなく、快適な暮らしにも重要な

ポイント。今回は、足元の快適さを陰で支える

となる

床の気密の要

ツキンをご紹介します。

床と壁の接合部の気密性能を高めるために

独自に施工しているのが、厚さ約3mmの発泡体、

気密パッキン

です。
指で押

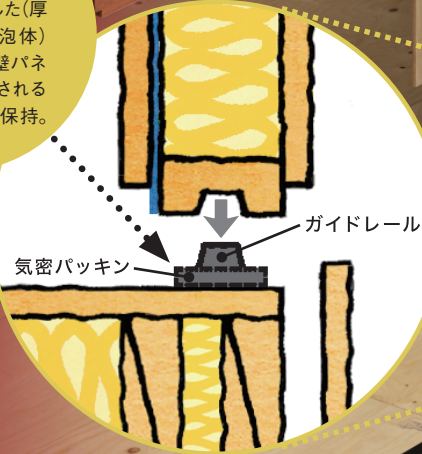
すと、ゆつくりと元に戻る、柔軟な素材です。こ

の気密パッキンを床面の外周（外壁パネル下部）

に貼り巡らし、その上にガイドレールを施工

外周壁パネルをのせる
床部分に、気密パッキン
を貼り巡らし、隙間をな
くします。その上にガイ
ドレールを施工して外壁
パネルを立ち上げます。

極めて耐久性に優れた
EPDM ゴムをやわらか
いスポンジ状にした(厚
さ約3mmの発泡体)
気密パッキンは壁パネ
ルの重量でつぶされる
ことで気密性を保持。



わずかな隙間もつく
らず、木の経年の変
化にも追隨して長期
にわたり、気密性能
を保持します。

長期

にわたって気密性能を維持し
続けます。スウェーデンハウ

スが、足元からやさしい暖かさなのは、この

気密パッキンが空気の流れを止め、床や壁パ

ネルに充填された分厚い断熱材の効果を最大

限に引き出しているからです。断熱材の働き

は、繊維が絡み合うことでできた無数の部屋

に多くの空気を封じ込めること。ですから、

隙間から空気が動いてしまえば意味がありま

せん。細かい部分まで丁寧に施工をして空気

の動きを止める、すなわち気密性能を高める

ことは、快適な家づくりに不可欠なのです。

創業当初からの気密性能へのこだわりは一

つ一つの細部に手を抜かない緻密な作業を重

ねて、スウェーデンハウスという他にはない

性能の家をつくり上げています。

全てのオーナー様に等しく、快適な住み心地

を届けたいと願う。これが、私たちの約束です。

し外壁パネルを立ち上げていきます（図参照）。

復元性

に優れた特長がある
ため、パネル自体の

重量でぎゅっと押しつぶすことで気密性能を

発揮します。さらに経年や乾燥により木材が

収縮することがあっても、しっかりと追隨し、